



GLP 岡山総社Ⅲ

写真左から、GLP 岡山総社Ⅲ、同Ⅰ、同Ⅱ（写真提供：日本 GLP 株式会社）

西日本をつなぐ3棟目の大型物流拠点

GLP岡山総社Ⅲがしゅん工

本GLP株式会社が整備していた3棟目の物流施設「GLP岡山総社Ⅲ」が完成。3月18日にしゅん工が行われ、出席した関係者約30人が新しい物流拠点の完成を祝いました。

同施設は、両備ホールディングス株式会社が長良地内に開発・造成した岡山総社インターチェンジ流通センター内に立地。西日本の物流拠点として稼働中のGLP岡山総社Ⅰ・Ⅱに次ぐ3棟目の大型物流施設です。延床面積は約3万2000㎡、鉄骨造3階建てで、耐震構造も備えています。施設に入居するテナント企業は、しゅん工前に4事業者が決定。現在は、全棟とも満床状態となっています。

今後は、高速道路に近いという利便性を生かし、西日本をつなぐ物流拠点として運用されます。

問い合わせ 企業誘致商工振興課（☎0866-92-8276）



1



2

① 新生に学校での生活を説明 ② 通学路に設置されたグリーンベルトを歩いて登校する児童 ③ 新しい教科書を新生に手渡す



3



小・中学校で入学式

新生活を笑顔でスタート

入学シーズンを迎え、4月12日に中学校で、13日に小学校で入学式が行われました。今年度は、中学校4校に643人、小学校15校に630人の新生が入学。新しい生活への一歩を踏み出しました。

1年生の登校がスタート。入学式翌日には、新小

市イメージキャラクター・チュッピーがあらわれた黄色のカバーを取り付けたランドセルを背負い、交通安全に気を付けて学校を目指していました。

問い合わせ 学校教育課（☎0866-92-8358）



1



2



3

① 障がい者雇用推進への思いがデザインされたラッピングトラック ② モザイクアートを鑑賞する参加者 ③ デザインに使用された写真の一部

日本GLP、GLP投資法人、両備ホールディングスと
避難場所提供や物資配送で協力する災害支援協定を締結

GLP岡山総社Ⅲのしゅん工に合わせて、市と日本GLP株式会社、GLP投資法人、両備ホールディングス株式会社の4者が災害支援に関する協定を締結しました。今後、大規模災害が発生した際、日本GLPとGLP投資法人は、所有・運営するGLP岡山総社Ⅰ～Ⅲの共用スペースなどを避難場所として提供。両備ホールディングスは、支援物資の配送業務などを担います。

協定締結に当たり日本GLPの帖佐義之代表取締役社長は、「弊社を育てていただいた総社に何か恩返しをしたかった。災害時は共用スペースを解放するほか、テナント企業の専有スペースについても各企業と相談して必要なスペースを提供したい。施設内にはカフェやシャワーなどの設備も



協定書を手にするGLP投資法人の三浦嘉之執行役員、日本GLPの帖佐代表取締役社長、片岡市長、両備ホールディングスの松田敏之代表取締役社長（写真左から）

備えているため、避難場所として役立てると思います」と述べました。

問い合わせ 危機管理室（☎0866-92-8599）

—市内で働く障がいがある人がデザイン—

ラッピングトラックで、障がい者千五百人雇用をPR

障がい者千五百人雇用事業を全国に発信するためのラッピングトラックが完成しました。3月29日、市役所玄関前でお披露目式が開催され、市内で働く障がい者など約300人が参加しました。

15トントラックの貨物部分には、障がい者就労継続支援B型事業所そうじゃ晴々の鈴木崇寛さんが描いたクジラと招き猫をデザイン。クジラのイ

ラストは、市内の障がい者施設の様子などを撮影した写真約5000枚を使ったモザイクアートになっています。

今後、トラックは日本全国を走りながら、市の障がい者雇用施策をPRします。

問い合わせ 福祉課障がい福祉係（☎0866-92-8269）